

平成20年度事務事業評価表

作成日：平成20年9月1日

Table with evaluation details: 評価対象年度: 平成19年度, 事務事業名: 橋りょう新設改良事業(菅田橋), 管理: 5-10-1-3, 部等名: 白沢総合支所, 課等名: 産業建設課, 係等名: 建設係, 科目: 一般, 科目コード: 01-080205001, 予算細目名: 橋りょう新設改良事業, 細々目名: 橋りょう新設改良事業, 政策体系: 基本目標 5 安全・安心な環境のまちづくり, 施策 10 幹線道路網(県道、都市計画道)の整備, 基本事業名 1 幹線道路の整備

Table with 事業概要 and 実施内容: 事業概要【事業概要】老朽化の著しい菅田橋の架け替え工事を、国庫補助事業により実施する。本線は、本市と二本松市を結ぶ幹線道路であるが、阿武隈川に架かる菅田橋の老朽化や幅員狭小(歩道なし)により通行車輛や歩行者等の安全・円滑な交通に支障をきたしているため早急に整備を図りたい。計画事業延長はL=608m・幅員W=6.0m(歩道2.5m)で、その内の橋梁(橋長)はL=148.5mである。なお、この事業主体は二本松市で、本市は事業負担金(事業費の1/2)を二本松に納入する。【年度別の実施内容】H19年度は、P2橋脚(瀨替工)、右岸低水敷護岸、A2橋台、取付道路暫定盛土等。H20年度は、P1橋脚(瀨替工)、取付道路改良。H21年度は、A1橋台(土留工)、左岸高水敷護岸、上部工桁制作、取付道路改良。H22年度は、上部工運搬・架橋。H23年度は、旧橋の上・下部工(左岸側)を撤去(瀨替工)、左岸高水敷護岸、上部工床版・橋面、取付道路舗装。H24年度は、旧橋の上・下部工(右岸側)を撤去(瀨替工)、右岸高水敷護岸。瀨替工とは大型土のう等で水量を抑え作業区域を確保するものである。 根拠法令等: 道路法、道路構造令, 事業の種類: 維持管理事業, 義務的事業, その他事業, 評価区分: 事前評価, 事後評価

Table with 重点事業区分: 重点事業, 事業実施期間: 継続, 単年度, 期間限定(16年度~24年度), 決算額: 1 報酬 307,114円, 2 給料 762,000円, 8 報償費, 9 旅費, 11 消耗品費 307,114円, 12 役員費, 13 委託料, 14 使用料及び手数料 431,012円, 15 工事請負費, 18 備品購入費, 19 負担金補助及び交付金 845,198円, 合計 86,019,944円

1. 事務事業の現状把握(Do)

(1) 事務事業の目的と手段

Table with 対象(誰を、何を): 菅田橋, 手段(事業の具体的な内容、手順等): 認可協議(本年度申請) 要望協議(次年度概算要望) 事業の執行(関係機関との協議、工事等の設計、契約、着手、施工管理、設計変更、検査、引渡し、支払) 改要望協議(次年度本要望) 完了実績報告, 意図(対象を、どのような状態にしたいのか): 新設橋を建設し幅員を広げることにより、歩行者等の安全確保や大型車輛の通行を可能にする。 活動指標名・式(アウトプット) 活動の大きさを表す指標: 指標(1) 名称 構造物件数(設置橋脚数)・工事延長, 式 橋脚(橋台) 基・工事延長 m, 成果指標名・式(アウトカム) 意図の達成度を表す指標: 指標(1) 名称 橋梁新設事業進捗率(事業費ベース), 式 当該年度までの事業費÷全体事業費

事務事業を実施(意図を実現)することで、施策にどのように貢献していますか

安全・安心な環境のまちづくりを目指して、幹線道路網の整備を実施して、市民及び道路利用者(通行車輛と歩行者等)の安全・円滑な交通を早急に整備したい。それにより危険箇所起因する事故をなくし、二本松市(県北地区)へのアクセスが整備される。

(2) 指標・総事業費の推移

Table with 区分, 単位, 年度(実績), 18年度(実績), 19年度(実績), 20年度(見込み), 24年度(最終目標): 活動指標(1) 基, 活動指標(2), 成果指標(1) %, 成果指標(2), 事業費: 国・県支出金 千円, 地方債 千円, その他 千円, 一般財源 千円, 事業費計(A) 千円, 人員費: 職員数 人, 人件費平均額(年) 千円, 人件費計(B) 千円, 総事業費(A+B) 千円

(3) 事務事業の環境変化・市民の意見等

Table with 環境変化: 事業の開始時期から、または5年前と比べ事業を取り巻く環境(対象者・法令等・社会情勢)はどう変わりましたか? 本線と連結する道路として、あだたらドリームライン(大山・松沢線)1期区間の整備が完了(平成16年度当初)したので、交通量が増えて安全確保の重要性が高くなっている。 市民の意見: この事業に対して、関係者(市民・議会・事業対象者・利害関係人等)からどんな意見や要望が寄せられていますか? 地域懇談会で事業進捗を促進(スピードアップ)して欲しいとの要望あり

2. 事務事業の評価 (Check)

[目的妥当性評価]		
施策体系との整合性 <input checked="" type="checkbox"/> 有 【理由】 <input type="checkbox"/> 無 【理由 , 改革改善案へ】	市が行なう必要性 <input checked="" type="checkbox"/> 有 【理由】 <input type="checkbox"/> 無 【理由 , 改革改善案へ】	対象・意図の妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 有 【理由】 <input type="checkbox"/> 無 【理由 , 改革改善案へ】
幅員の狭く老朽化した橋(菅田橋)の架け替えにより、安全性の向上に結びつき、幹線道路としてのアクセスが整備される。		
道路管理者の責務として、橋梁を利用する人々の安全性・利便性を確保することは重要である。		
この事業の最終目標は、市民及び道路利用者の安全・円滑な交通を確保することである。その過程として、平成19年度は菅田橋の橋脚を整備した。この対象と意図は妥当である。		
[有効性評価]		
成果の向上余地 <input type="checkbox"/> 有 【理由 , 改革改善案へ】 <input checked="" type="checkbox"/> 無 【理由】	事業の中止・廃止による影響 <input checked="" type="checkbox"/> 有 【理由】 <input type="checkbox"/> 無 【理由 , 改革改善案へ】	類似事業との統廃合の可能性 <input type="checkbox"/> 有 【理由 , 改革改善案へ】 <input checked="" type="checkbox"/> 無 【理由】
計画通り進んでいる。		
道路管理者の責務として、歩行者の安全確保及び交通規制の解除等を行うことは当然であり、事業の中止・廃止は出来ない。		
特に類似事業はないので統廃合はない。		
[効率性評価]		[公平性評価]
事業費の削減余地 <input checked="" type="checkbox"/> 有 【理由 , 改革改善案へ】 <input type="checkbox"/> 無 【理由】	人件費の削減余地 <input type="checkbox"/> 有 【理由 , 改革改善案へ】 <input checked="" type="checkbox"/> 無 【理由】	受益者負担の適正化余地 <input type="checkbox"/> 有 【理由 , 改革改善案へ】 <input checked="" type="checkbox"/> 無 【理由】
平成23・24年度に工事予定の旧橋取壊における仮設工について再検討してコスト削減を図りたい。ただし、最近の鋼材及び燃料等の値上げにより事業費増の可能性もある。		事務事業は効率的に進めている。
道路は不特定多数の人々が利用するものであり公平であるため、受益者負担はもとめられない。		

3. 評価結果の総括と今後の方向性

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括 (振り返り、反省点)																					
目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地がある 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある	本事業は、橋梁すべてを事業主体(二本松市)で実施する計画であったが、河川管理者(国交省)の指示より下部工(A1橋台、P1・2橋脚)及び旧橋の取り壊しは国交省の受託事業に変更となり、そのため、上記の工種のコストは増加してしまった。																					
(3) 今後の事業の方向性	(5) 改革・改善による期待成果																					
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 事業の統廃合 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来の通りで特に改革改善しない)	廃止・休止の場合は記入不要 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(4) 改革改善案の概要																						
事業費について、今後は鋼材及び燃料等の値上げにより事業費増の可能性が大きいので、なお、一層のコスト削減への取組強化が求められる。仮設工の内容等について再検討してコスト削減案を国交省に提案していきたい。																						
(6) 改革改善を実現する上での解決すべき課題と解決策																						
下部工(A1橋台、P1・2橋脚)及び旧橋の取り壊しは河川管理者(国交省)の受託事業になったが、国交省は工事の安全管理等の意識が高く(仮設工の内容が立派)それが、コスト増に繋がっているため、コスト意識を持って貰うように取り組んでいきたい。																						

4. 事務事業の2次評価結果

2次評価対象 2次評価対象外

(1) 2次評価者としての評価結果	(2) 評価結果の根拠と理由																					
目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地がある																						
(3) 今後の事業の方向性 (改革改善案)	(4) 改革・改善による期待成果																					
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業の統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来の通りで特に改革改善しない)	廃止・休止の場合は記入不要 <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
(5) その他、2次評価会議で指摘された事項																						